

# オステオパシー入門基礎セミナー

講師 柴岡オステオパシーオフィス院長 柴岡 宏二  
JOMA 認定オステオパス (JOMACO)



- 歴史
- 哲学と原理
- 診察基礎と触診基礎
- 10 ステップスクリーニング

## 講師よりのメッセージ

オステオパシーは、人の体の構造と機能が自然の法則に従って効率的に働くための学問(オステオパシーの法則(哲学)や医学知識)と、その働きを促す手段として、マニピュレーション (ラテン語で：手捌き・手技) を中心としたトリートメントを用い、健康的な生活のアドバイスを行う。・・・マニピュレーションは、自然な機能を身体に自覚させる手段として最も適しているため、・・・オステオパシーでは、オステオパシー哲学に基づいた構造と機能の考えを基に、感性と計画性が共なったマニピュレーションの事を、オステオパシーマニピュレーション(OMT)という。

オステオパシーの意味とは、けして一つのマニピュレーションの手段や種類に対しての用語ではなく、哲学・原理・原則と有効的な手段(手技が中心)との融合を指し広い意味合いを持つ。

オステオパシーを船の航海に例えて説明すると。

航海に当たり(オステオパシーを行うに当たり)、乗組員が帆を立て櫂で漕いで船を動かす事は出来るが(マニピュレーションはできるが)、磁石が無く(オステオパシー哲学が無く)、気候や地図を知らないと(解剖と生理などの、医学知識を知らないと)、または見方を知らないと(診察や触診が出来ないと)、船の行く先がどこに行くか分からないし(施術に成るのかどうか分からないし)、危険ですらある。

日本の多くの医療・医療類似行為や代替療法を行う方の大半は、オステオパシーの基本的な所を理解していません。

また日本のオステオパシーを教えたり施術に利用する大半の施術者は、オステオパシーの一つの手技の技術か、その一つの手技の一部分だけが出来の方が大半で、オステオパシーを理解し行えるとはほど遠い状態です。

**JOMA** では正しいオステオパシーの普及と、施術を受ける側の安全性のために、医療有資格者を対象に基本的でいて、さらにオステオパシーを行う上で熟知・熟達が必要不可欠な、歴史・哲学的法則・原理・触診・スクリーニングテストなどを中心とした、重要なオステオパシーのセミナーを行います、オステオパシーの入門や基礎として必要不可欠な内容です。

## 内容の一部

- ・オステオパシーの歴史 ・オステオパシーの哲学的法則 ・AT スティルの洞察
- ・世界のオステオパシーの情勢 ・骨転位から体性機能障害(SD)まで
- ・ウォルフの法則 ・ヒステレシスとクリープ ・診察の基礎と TART
- ・触診 ・各モデル(生体力学系・神経系・呼吸循環系・生体エネルギー系・心理的要素)
- ・各種 OMT 「手技」の概略(ST・ART・HVLA・ME・LAS・CS・VM・CR)
- ・姿勢に関する基本的見解(最適な姿勢の定義・・・など。

## オステオパシーの歴史

オステオパシーがどの時代のどのような背景で生まれたか。

A.T.スティルの歴史の概要

## オステオパシーの法則(哲学)

オステオパシーの中核を成す哲学と基本法則

## AT スティルの洞察

オステオパシーのホリスティックな自然治癒力に対する考え方。

(A.T.スティル M.D. に見るボーンセッターとヒーラーの要素・・・)

## 世界のオステオパシーの情勢

アメリカやヨーロッパなど現在のオステオパシーの発展と、フランスのオステオパシーの伝統と独創と多面的可能性の概要

## 骨転位から体性機能障害(SD)まで

A Tスティルが注目した構造の問題、リージョンとは、オステオパシックリージョンからソマティック・ディスファンクションの概要

## ウォルフの法則

力学的不可に対応し、骨構造(結合組織)などに起こる変化

## 各モデル

力学モデル 神経モデル 呼吸循環モデル 生体エネルギーモデル 心理的モデル

## 診察の基礎と TART

オステオパシック・ダイグノーシスの基礎・機能障害か病理的問題か  
視診・問診・触診・機能障害の四つの表現(TART)・ファシリテーター(促進者)  
と治療者の違い

## 触診

オステオパシク・パルペーションとは ・軟部組織/骨関節のパルペーション  
静的パルペーション(発生リズムに関与した各種パルペーションの紹介)

## 各種 OMT の概略(ST・ART・HVLA・ME・LAS・S-CS・VM・CR)

D と ID とは、各種オステオパシーマニピュレーションの紹介。  
複合法の一例

## 姿勢に関する基本的見解

構造診断 姿勢に対する基本的見解 クロスオーバーポイント  
移行ゾーン ジンクの筋膜パターン 筋靭帯のパターン 主動筋と拮抗筋 構造診断の手順

## スクリーニングテスト

10 種類のプロトコールから『全体検査』

## オステオパシーの基本的有効性と多面性

## At スティルのオステオパシー実践の基礎(リサーチ&プラクティスから・・・)

## 生活指導のいくつかのモデル・自然で多面的生活要素

## 現代の環境における身体の適応と相殺の洞察

- ・胸郭のSDに対するオステオパシーアプローチ・実技(時間が余れば)
- ・進行の都合上、内容が多く一部変更やカットされる場合があります。

セミナー受講者の感想（2008年）

- 初心者でセミナー受講は初めてだったのですが、オステオパシーの概念、考え方など非常に興味深く学ばせて頂く事ができました。実技は今まで経験が無いと難しいと感じましたが、今後勉強していきたいと思いました。（M,Y 医師）
- オステオパシーの哲学や治療方法の内容の深いセミナーでした。（M,O JOMA 会員）
- 哲学の重要性が認識できて良かったです。オステオパシーの広さと深さを学べる事を予感します。（K,N）
- 歴史. 創始者の話や先生の臨床経験を交えながらの講義がとても面白く、脱線した話が不快で無くむしろ楽しかったです。今までセミナーを受講して得た知識、技術はすぐに臨床で使いたくなり、無理やりその枠に患者さんをあてはめていた様に反省させられました。  
介入しすぎない、適当に見る(わからなければわからないままでも良い)核になる部分を治療する。  
目が覚めた気がします。（T,K 柔道整復師）
- 内臓に関しての話題が多かった気がした。（N,K 柔整学生）
- 今まで直接的な治療法をあまり知らなかったのもとても参考になりました。次回も楽しみです。（T,T 鍼灸師）
- 初めての事ばかりですので、わからないことが多かったのですが非常に興味を持って拝聴いたしました。（H,M）

#### 実施要項

- |     |       |                     |                |
|-----|-------|---------------------|----------------|
| 日 程 | 第 1 回 | 2010 年 12 月 19 日（日） | 午前 10 時～午後 4 時 |
|     | 第 2 回 | 2011 年 1 月 23 日（日）  | 午前 10 時～午後 4 時 |
- 
- |        |   |
|--------|---|
| 1. 会 場 | 飯田橋 白王ビル 3 階 大会議室<br>東京都文京区後楽 2-3-10 白王ビル<br>連絡先：03-6802-9225 （JOMA 事務所）<br>※日程・会場が変更になる場合があります。予めご了承ください |
| 3. 定 員 | 30 名 ※定員になり次第〆切りますので、早めにお申し込み下さい<br>定員に満たない場合中止になる場合があります。  |
| 4. 申込み | 参加希望者は所定の申込書に必要事項を記入して 12 月 9 日までに FAX にて日本オステオパシーメディスン協会へお申込み、<br>入金は同日までに下記口座へお振込みください。                 |

FAX : 03-6802-9225

URL : <http://www.japan-osteopathy.com>

## 5. 参加費

支払い方法は次のようにいたします。

①申込み人数が10名未満ですと、中止する場合があります。

②前納の場合、参加費は欠席されてもお返し致しません。

分割の場合でも申し込まれた分のお支払いをお願い致します。

J O M A 会 員

分割 10,000円×2回=20,000円

前納 10,000円×2回=20,000円 (20%引き：16,000円)

国家医療資格養成校学生 または

2年制以上のオステオパシー・カイロプラクテック養成校

前納 12,000円×2回=24,000円 (10%引き：21,600円)

国家医療有資格者 または

2年制以上のオステオパシー・カイロプラクテック教育機関卒業者

前納 17,000円×2回=34,000円 (10%引き：30,600円)

振込先

銀行：みずほ銀行 飯田橋支店 店番号 061  
口座番号 普通 2441537  
日本オステオパシーメディシン協会  
代表 原田 健穰 (ハラダ ケンジョウ)

## 6. 備考

- カメラ・動画に類する撮影はセミナー進行の妨げになり、他の受講者の迷惑となりますので、講師の許可なく行なわないで下さい。録音は可能です。
- この技術を使用し、万が一事故が生じた場合、当会では一切責任を負いません。
- 参加者は誓約書にサインしていただきます。

# オステオパシー入門セミナー申込書

2010年 月 日

氏名	漢字	ローマ字
年齢	才	男性・女性
住所	〒	
電話番号	Tel - -	Fax - -
Email		
※所属団体	JOMA 会員 ※その他( )	
※国家資格	注1	
※学校名	注2	
※卒業校名	注3	
※振込予定日	注4 年 月 日 会員のみ(一括払い、分割払い) どちらかに○	

※ は必須項目ですので必ずご記入ください。

注1：医療国家資格をお持ちの方は明記し、証書の写しをお送り下さい。

注2：医療国家資格校の学生は学校名を明記し、学生証の写しをお送り下さい。

オステオパシー・カイロプラクテック2年生養成校等の学生は学校名を明記し、学生証の写しをお送り下さい。

注3：オステオパシー・カイロプラクテック2年生養成校等を卒業している方は学校名を明記し、卒業証の写しをお送り下さい。

注4：分割払いの方は、事務所にご連絡ください。

○ 過去に JOMA 主催のセミナーを受講された方は、再度、注1・2・3の証書等の写しは必要ありません。

～ご参加の動機について該当するものにチェックを入れてください～

- JOMA ダイレクト・メールを見て
- JOMA ホームページを見て
- 口コミ
- 紹介(紹介者名: )
- 雑誌や広告( )